

第6学年 国語科学習指導案

6年 37名
指導者 松岡聖子

- 1 単元名 「宮沢賢治リーフレット」を作ろう
「宮沢賢治」(東京書籍 6年下)
「イーハトーヴの夢」(光村図書 6年下)

2 指導にあたって

(1) 単元設定の理由

本学級の学習者は、歴史についての読み物や推理小説などを好む傾向にあるが、7月の「ヒロシマのうた」「石うすの歌」の学習後、戦争や平和に関する作品に関心を向けるなど、読書の幅が広がってきている。

学習者は、5年生のとき伝記「マザーテレサ」で読解をもとに人物の生き方について考える学習をしている。また、物語「注文の多い料理店」で、宮沢賢治の作品の表現の工夫や登場人物の心情の変化について考えた。そこで、これまでの様々な学習や体験を生かして、多角的にものを見つめたり考えたりすることができるようになってくるこの時期に、宮沢賢治の伝記を取り上げ、その行動や考え方、生き方を読み取りながら、作品とかがかわらせて読みを広げ、賢治との対話を深めながら主体的な読みを展開することができるようにしたい。

宮沢賢治は1896(明治29)年、岩手県稗貫郡花巻で質屋と古着商を営む裕福な家庭の長男として生まれる。幼い頃から客として出入りする貧しい農民の姿を見て育ったことから、農民の力になりたいと思っていた。また、仏教を信仰しており「世の中のためになる仕事」をしたいと考えていた。そのために、農業技術を学び、農業学校の教師となったが、それだけでは本当の農民の苦しみは分からないと考え、自らも農民になって生きた。賢治は、「世界が全体に幸福にならないうちは個人の幸福はありえない」という理想をもっており、この理想を実現するために詩や童話を書いた。自然に対する強い関心をもっていた賢治の書く詩や童話は、人間も動物も植物も、互いに心が通い合う世界である。

伝記を読むことは、先人のものの見方や考え方、生き方に学び、自分の生き方について考えることである。今回は、「宮沢賢治リーフレット」を作ることを目標に、二つの伝記を読んで賢治の人となりについて理解した後賢治の作品を読む。そして、賢治の生き方と作品に表れた理想とのかかわりを考えることにより、ものの見方や考え方を広げたり深めたりすることができるようにしたい。

本時はこの単元の第4次で「宮沢賢治リーフレット」の後書きの下書きを書く時間である。ここでは、賢治の生き方と作品とのかかわりを話し合ったり、共感するところや取り入れたいところなどを文章にまとめたりすることができるようにしたい。

(2) 活用する力の育成を図るために

本単元における活用する力を育成する場合は、特に第4次の宮沢賢治の生き方と作品のかかわりについて話し合い、リーフレットの後書きを書く場である。学習者が、賢治の考え方や生き方が作品にどのように表れているかを話し合う過程で、自分の考えを広げたり深めたりすることができるようにする。そして、後書きを書くことで学んだことや考えたことを人に知らせる文章を書く力を育てたい。本時は、第4次の第1時にあたる。ここでは、お互いの考えを認め合う雰囲気をつくり多くの意見が出るように支援するとともに、後書きを書くときの手引きとなるよう板書も工夫したい。また、書き出し例を示した各種の手引きを配布し、自分で書きたいことを選んで書くことができるよう支援する。

3 単元の目標

(1) 学習者の活動目標

「宮沢賢治リーフレット」を作ろう

(2) 指導目標

作家と作品のかかわりに興味をもち、作品を読んだり紹介したりする態度が育つようにする。

読んだ作品の感想や、作家と作品のかかわりなどをまとめ、読み取った内容と感想・意見を区別してリーフレットに書くことができるようにする。

叙述に即して宮沢賢治の理想や生き方について読み取ることができるようにする。

宮沢賢治の作品を比べて読み、叙述に即して表現のすばらしさに気付くことができるようにする。

4 単元の評価

	評価規準	「十分満足できる」と判断される状況 「おおむね満足できる」状況にするための手だて	評価の資料
関心 ・ 意欲 ・ 態度	作家と作品のかかわりに興味をもち、作品を読んだり紹介したりしようとしている。	作家と作品のかかわりに興味をもち、進んで作品を読んだり、積極的に紹介したりしようとしている。 本人の興味・関心、読書力に応じた作品について助言する。または複数示して選べるようにする。	・読書記録カード ・学習者の様子
書 こ と	読んだ作品の感想や、作家と作品のかかわりなどをまとめ、読み取った内容と感想・意見を区別してリーフレットに書いている。	読んだ作品の感想や作家と作品のかかわりなどをまとめ、効果的な表現方法を工夫してリーフレットに書いている。 読み取った内容と感想・意見を区別して書くための手引きを複数提示し選ばせる。	・ワークシート ・学習者の様子
読 む こ と	叙述に即して宮沢賢治の理想や生き方について読み取っている。	叙述に即して、宮沢賢治の理想や生き方についての確に読み取っている。 宮沢賢治の考え方や生き方を示す叙述を、教師が2, 3示し、選んで使うことができるようにする。	・発言 ・ワークシート
	宮沢賢治の作品を比べて読み、叙述に即して表現のすばらしさに気付いている。	表現のすばらしさに気づき、宮沢賢治の作品に描かれた心情や情景を豊かに想像している。 心情や情景を表していたり、想像する手がかりとなっていたりすることばを探そう助言する。	・発言 ・ワークシート

5 学習計画

学習活動	学習者の意識の流れ	主な指導・支援	身に付けさせたい力
<p>事前 学級文庫に宮沢賢治の詩や童話を置き、自由に読むことができる環境を作っておく。</p>	<p>夏休みの読書感想文に「銀河鉄道の夜」を読んだよ。</p> <p>5年生のとき、「注文の多い料理店」を読んでドキドキしたね。</p> <p>「やまなし」を読んだことがあるけど、よく分からなかったなあ。</p>	<p>学習者の読書経験や知識を事前にとらえておく。</p>	
<p>第1次 (1時間) 学習計画を立てる。</p>	<p>宮沢賢治のリーフレットを作ろう。</p> <p>宮沢賢治について紹介文を書こう。</p>	<p>単元の目標をはっきりさせ、意欲をもたせる。</p>	
<p>・「宮沢賢治リーフレット」を作ることを知る。</p>	<p>自分の理想とする世界を求めて激しく燃えた太陽のような人だったんだ。</p> <p>裕福な家に生まれたのに、農民のために自分の体はどうなってもいいと考えたなんてすごい。</p> <p>小さい頃から植物や石ころを集めるのが好きだったんだ。</p>		
<p>第2次 (4時間) 2つの伝記を読み、宮沢賢治の紹介文を書く</p> <p>・「宮沢賢治」(西本鶏介著)を読み、まとめる。</p> <p>・「イーハトーヴの夢」(畑山博著)を読み、まとめる。</p> <p>・宮沢賢治の紹介文を書く。</p>	<p>宮沢賢治の伝記2つをくらべてみよう。</p> <p>イーハトーヴは人間も動物も植物も心が通い合うすてきな世界だ。</p> <p>病気になっても農民に農業の技術を教え続けるのをやめなかった。</p> <p>やさしさを育てるために、たくさんの詩や童話を書いたんだ。</p> <p>賢治さんの作品の理想はこんなだったんだ。</p>	<p>賢治の行動や出来事が整理できるようワークシートを用意する。</p> <p>2つの伝記を比べ、共通点や相違点を挙げながら賢治の生き方に対する理解を深める。</p> <p>賢治の理想や願いがどのような行動に表れているか書くことができるようにする。</p>	<p>文章の内容を的確に押さえ描かれる人物像をとらえる。</p> <p>目的に応じて複数の本や文章を選んで比べて読む。</p> <p>目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりする。</p>
<p>第3次 (3時間) 宮沢賢治の作品を読み、あらすじや感想をリーフレットにまとめる</p> <p>・宮沢賢治の作品を読む。</p> <p>・あらすじや感想を書く。</p>	<p>宮沢賢治さんの作品を読んでみたい。</p> <p>「風の又三郎」は、雨や風を自分の力で動かすことができる不思議な力を持っているんだ。</p> <p>「セロ弾きのゴーシュ」は、自分の音楽で動物の病気を治すことができるよ。</p> <p>「グスコブドリの伝記」は、みんなを助けるために、自分が火山に向かった勇氣ある人だ。</p> <p>読んだ作品をリーフレットにまとめよう。</p>	<p>あらすじや感想をカードに書くようにする。</p> <p>お互いの考えを認め合う雰囲気をつくる。</p>	<p>読み取ったことから、あらすじや感想を区別して書く。</p> <p>本や文章を読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりする。</p>
<p>第4次 (3時間) 宮沢賢治の生き方と作品のかかわりについて話し合い、リーフレットの後書きを書く(本時1/3)</p> <p>・リーフレットの後書きを書く。</p> <p>・リーフレットを読み合う。</p>	<p>グスコブドリは宮沢賢治の生き方ととてもにている。自分をぎせいにして人々のために働いたんだ。</p> <p>「雨ニモマケズ」の詩は、だれかが幸福でなかったら、いてもたってもいられないという、宮沢賢治さんの気持ちを表した詩だ。</p> <p>「どんぐりと山猫」は、人間をどんぐりにたとえて、いろいろなことで争う人の悪いところを伝えたかったのだろう。</p> <p>リーフレットを読み合おう。</p>	<p>賢治の生き方が作品にどのように表れているかや、自分の成長につながったところを中心に書くようにする。</p> <p>書き出し例を示した手引きから自分で選ぶことができるようにする。</p>	<p>目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりする。</p>
	<p>友達リーフレットにあった作品も読んでみよう。</p>	<p>読んだ感想を書くカードを用意する。</p> <p>宮沢賢治の作品を読むとする意欲付けをする。</p>	<p>書いたものを読み合い表現の仕方について助言し合う。</p>

6 本時の学習

(1) 目標

学習者の活動目標

宮沢賢治の生き方と作品のかかわりをまとめ、リーフレットの後書きを書こう。

指導目標

宮沢賢治の生き方や考え方が、どのように作品に具現化されているかを考え、自分の考えも入れてリーフレットの後書きを書くことができるようにする。

(2) 展開

学 習 活 動	指 導 ・ 支 援	具 体 の 評 価 規 準	評 価 の 資 料
1 本時の学習のめあてをつかむ。	宮沢賢治の生き方と作品のかかわりをまとめ、リーフレットの後書きを書くことを確認する。		
「宮沢賢治リーフレット」の後書きを書こう。			
2 賢治の生き方と作品のかかわりについて話し合い、後書きに書くことを考える。	これまでの学習の記録をもとに話し合うようにする。 賢治の生き方について学んだこと、作品について考えたこと、これからの自分の生き方に生かしたいことなどについて話し合うようにする。	賢治の生き方と作品のかかわりについて考えをまとめ話し合っている。	発言
3 後書きを書く。	話し合ったことから、自分の考えをまとめるようにする。 複数の書き出し例を示した手引きを配布し、選んで書くことができるようにする。	賢治の生き方や作品について考えたことを自分のことばで書いている。	ワークシート
4 後書きを発表する。	グループで読み合ったり全体で発表したりする。		

(3) 本時の評価

「十分満足できる」と判断される状況	宮沢賢治の生き方や作品について考えたことや、自分の成長につながったことを書いている。
「おおむね満足できる」状況にするための手だて	書き出し例を示した複数の手引きの中から指導者と一緒に選んで書くようする。